

## 前期高校再編の概要

## 1 大沢野工業高校と富山工業高校による新高校

	学級数	定員	
大沢野工業	機械科	1	40
	電子機械科	1	40
	電気情報科	1	40
富山工業	機械科	1	40
	情報技術科	1	40
	金属工業科	1	40
	電気科	2	80
	建築科	1	40
富山西	土木科	1	40

	学級数	定員	
富山工業	機械工学科	2	80
	金属工学科	1	40
	電子機械工学科	1	40
	電気工学科	2	80
	建築工学科	1	40
	土木工学科	1	40

(8学級 320名)

※富山西高校の土木科は移設 (10学級 400名)

## ○ 魅力ある学校づくりのための仕組み

- ・全学科共通の履修科目「ものづくり学」を設定し、ものづくりの基礎基本をはじめ、工業全般にわたる広い視野と応用力、ものづくりに対する総合的な見方・考え方を学ぶ。
- ・各学科における専門的な知識や技術の習得を柱としながらも、系ごとに、複数の学科が共通に学ぶ専門科目を設定する。

## 2 二上工業高校と高岡工芸高校による新高校

	学級数	定員	
二上工業	機械工学科	1	40
	環境科学科	1	40
高岡工芸	機械科	1	40
	電子機械科	1	40
	電気科	1	40
	建築科	1	40
	工芸科	1	40
	デザイン科		

(7学級 280名)

	学級数	定員	
高岡工芸	機械科	1	40
	電子機械科	1	40
	電気科	1	40
	建築科	1	40
	土木環境科	1	40
	工芸科	1	30
	デザイン・絵画科	1	40

(7学級 270名)

## ○ 魅力ある学校づくりのための仕組み

- ・全学科共通の履修科目「ものづくり学」を設定し、ものづくりの基礎基本をはじめ、工業全般にわたる広い視野と応用力、ものづくりに対する総合的な見方・考え方を学ぶ。
- ・各学科における専門的な知識や技術の習得を柱としながらも、系ごとに、複数の学科が共通に学ぶ専門科目を設定する。
- ・両校の特徴や伝統を生かした環境教育の導入や、工芸・デザイン教育を拡充する。

## 3 海洋高校と滑川高校による新高校

	学級数	定員	
海洋	海洋技術スポーツ科	2	50
	海洋食品情報科	1	30
滑川	普通科	3	120
	薬業科	1	40
	商業科	1	40

(8学級 280名)

	学級数	定員	
滑川	普通科	3	120
	薬業科	1	40
	商業科	1	40
	海洋科	1	40

(6学級 240名)

## ○ 魅力ある学校づくりのための仕組み

- ・生徒の進路希望等に応じて、学科の枠を超えて横断的に科目選択ができる仕組み（総合選択制）を導入し、生徒の多様な学習ニーズに対応できるようにする。
- ・コミュニケーション能力の伸長や、地域・国際理解を深めることを目指し、全生徒が共通に学ぶ科目「コミュニケーション入門」を設定する。

## 4 有磯高校と氷見高校による新高校

	学級数	定員	
有磯	農業科学科	1	30
	漁業科	1	30
	水産食品科		
	生活福祉科	1	40
氷見	普通科	4	160
	商業科	1	40

(8学級 300名)

	学級数	定員	
氷見	普通科	4	160
	農業科学科	1	40
	海洋科学科	1	40
	ビジネス科	1	40
	生活福祉科	1	40

(7学級 280名)

## ○ 魅力ある学校づくりのための仕組み

- ・生徒の進路希望等に応じて、学科の枠を超えて横断的に科目選択ができる仕組み（総合選択制）を導入し、生徒の多様な学習ニーズに対応できるようにする。
- ・地域の自然や産業などについて、全生徒が共通に学ぶ科目「氷見学(仮称)」を設定する。

## 5 南砺総合井波高校と南砺総合福野高校による新高校

	学級数	定員	
南砺総合井波	普通科	1	40
	福祉科	2	50
南砺総合福野	普通科	4	160
	農業環境科	1	30

(8学級 280名)

	学級数	定員	
南砺福野	普通科	5	200
	農業環境科	1	30
	福祉科	1	40

(7学級 270名)

## ○ 魅力ある学校づくりのための仕組み

- ・生徒の進路希望等に応じて、学科の枠を超えて横断的に科目選択ができる仕組み（総合選択制）を導入し、生徒の多様な学習ニーズに対応できるようにする。
- ・全校生徒が、地域の自然や文化、産業等への理解を深め、探究力の伸長を図る学習や、緑化運動を行うなど、学校全体で取り組むことができる活動を充実する。